

平成 29 年度 専門看護研修企画書

専門分野	皮膚・排泄ケア		
担当	竹長 幸子		
目的	予防から発生後まであらゆる状況の創傷をもつ患者に、状況に合わせた的確な評価を行い、よりよいケアが実践できるための知識と技術を修得する。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.皮膚の構造と機能について理解し説明することができる。 2.皮膚に影響を与える要因について理解し説明することができる。 3.脆弱な皮膚の特徴について理解し説明することができる。 4.皮膚の特徴を理解したうえでスキンケアの方法が説明できる。 5.褥瘡発生の要因、発生のメカニズムについて理解し説明できる。 6.褥瘡発生予測のためのリスクアセスメントについて理解し説明できる。 7.創傷治癒過程と創傷環境調整について理解し説明できる。 8.褥瘡の分類について理解し説明できる。 9.褥瘡予防・治療環境を整えるためのケアについて理解し説明できる。 10.褥瘡予防のための体圧分散寝具の特徴が理解できる。 11.D E S I G N - R について理解し、それに基づいたケア方法について説明できる。 12.本研修で学んだ専門知識を用いケアを実践するための知識と技術について説明できる。 		
対象者	<p>看護師経験年数5年目以上でありそのうち創傷・褥瘡のある患者の看護を3年以上経験し、看護実践能力を向上させたいと意欲がある看護師であること（院内・院外併せて）</p> <p>褥瘡対策に携わり、積極的に創傷・褥瘡ケアを学びたいと志し、実践できるもの</p>		
人数	5～10名程度（院内外併せて）		
研修場所	地域医療研修センター		
研修時間	<p>第1回：平成29年6月8日（木）18:00～19:00</p> <p>第2回：平成29年7月6日（木）18:00～19:00</p> <p>第3回：平成29年8月3日（木）18:00～19:00</p> <p>第4回：平成29年9月7日（木）18:00～19:00</p> <p>第5回：平成29年10月5日（木）18:00～19:15</p> <p>第6回：平成29年11月2日（木）18:00～19:15</p> <p>第7回：平成29年12月7日（木）18:00～19:00</p>		
内容		内容	使用物品
	第1回	<p>1.皮膚の特徴とケア</p> <p>①皮膚の構造と役割</p> <p>②皮膚に影響を与える要因と特徴</p> <p>③スキンケアの基本と方法</p>	<p>パワーポイント・</p> <p>講義資料・参考図書・筆記用具</p>
	第2回	<p>2.創傷のアセスメントとケア（1）</p> <p>①褥瘡発生の要因とメカニズム</p>	<p>パワーポイント・</p> <p>講義資料・参考図書</p>

	②創傷の治癒過程 ③WBP・TIMEからの創傷治癒に必要な環境	書・筆記用具
第3回	3.創傷のアセスメントとケア (2) ①褥瘡分類 (ステージ) ②褥瘡の予防的ケア (リスクアセスメント、体圧分散寝具使用、ポジショニング、摩擦とズレ予防、スキンケア)	パワーポイント・ 講義資料・参考図 書・筆記用具
第4回	4.創傷のアセスメントとケア (3) ①DESIGN-Rに基づく評価方法 ②局所治療の基本スキーム	パワーポイント・ 講義資料・参考図 書・筆記用具
第5回	5.創傷のアセスメントとケア (4) ①褥瘡の局所アセスメント ②褥瘡のケア方法 (栄養管理) ③DESIGN-Rに基づいた薬剤の選択 ④DESIGN-Rに基づいた創傷被覆材の選択	パワーポイント・ 講義資料・参考図 書・筆記用具
第6回	修了試験 課題症例に対して評価、ケア方法について検討・ グループワーク	講義資料・参考図 書・筆記用具
第7回	修了試験解説・解答、各自施設・部署の課題、行 っていきたい事の発表、修了証書の授与	
合格基準	1.全ての過程の講義を受講する 2.修了試験の7割を正解する	
参考図書	褥瘡ガイドブック第2版：日本褥瘡学会：照林社、2015	